

## No.2「靴(くつ)は手でそろえよう」

Q 1 : 「靴(くつ)は手でそろえよう」とはどんなことですか。

A : (1) 自分でぬいだ靴はぬぎっ放しにしないで、「手でそろえる」ということです。

(2) かなり多くの方は、自分でぬいだ靴をそのままぬぎっ放しにしておくようですが、今日から、それはやめましょう。

(3) 自分でぬいだ靴は「手でそろえる」ことを、「習慣」といたしましょう。



Q 2 : なぜですか。

A : (1) 自分でぬいだ靴は、ぬぎっ放しにしないで「自分の手でそろえる」ということは、自分の行動には責任を取るということを意味します。

(2) 自分の行動については最後まで責任を取る「自己責任」という考え方が、勉強を含めあらゆることについて必要です。その手始めが、自分でぬいだ靴は自分の手でそろえることです。

(3) この他に、「靴を手でそろえる」には、どのような意味があると思いますか。



Q 3 : 「靴を手でそろえる」ということは、自分の<sup>あしもと</sup>足元をよく見るということですか。

A : (1) ① その通りですね。さすが開倫塾の塾生、よいところに気が付きました。

② 「靴を手でそろえる」ということは、「いつも自分の足元を見る」ことも意味すると、考えます。

③ 「いつも自分の足元を見る」ということは、「いつも自分の足元を見て、自分を振り返る」「自分の行った行為がよかったかどうか反省する」ことを意味します。

(2) 孔子の教えを弟子たちが 499 章にまとめた「論語」の中に、「三省(さんせい)」という章があります。

「孔子の門人の曾子が言った。私は一日の中で何回も何回も、主として次の点について反省する。

① 一つは、他人のために相談に乗った時、ほんとうに誠意をもって考えてやったか、ということ。

② 二つは、友達との交際において、信義を尽くさないことはなかっただろうか。

③ そして、三つには、まだ自分の知識として完全に消化されていない事  
がらを、他人に教え伝えはしなかっただろうか、と。」

\* 「論語抄」史跡足利学校発行 5 ページより引用<三省>



(3) ① 自分の足元をよく見る。

② 注意深く生活し、交通事故や事件・事故に巻き込まれないようにしましょう。

③ 「注意一秒・けが一生」です。